

つ スポーツ推進
委員会通信



ふれ愛

第18号
平成29年
9月発行

発行
津市スポーツ推進委員会
広報部会

平成29年度 津市スポーツ推進委員会 第1回 総会

日時：平成29年 5月10日（日）午後2時30分～
場所：津都ホテル 伊勢の間

○ 組織力と行動力を発揮して！！ ○

平成29年度第1回総会が、津都ホテルにおいて会員78名の出席のもと、真摯な討議がおこなわれ、すべての議案(事業計画、収支予算案等)が承認・可決され、新たな事業年度がスタートしました。

私達スポーツ推進委員は、地域の人々にスポーツの実施方法や技術指導をするだけでなく、地域の人々の自主的なスポーツ活動やスポーツ指導を実施するための場を整え、提供していくことを目的に地域の諸団体とのコーディネーター役としての活動が求められています。また、今後は従来のスポーツの概念から脱皮し、障がい者スポーツ、高齢者スポーツ、女性のスポーツなど時代を先取りした生涯スポーツの普及・振興に積極的に取り組んでいくことも望まれています。

津市スポーツ推進委員会は合併後10年が経過し、今年度は、過去10年を振り返り目標を持って委員会活動に取り組むことが重要です。特に12月には第58回三重県スポーツ推進委員研究大会兼研修会が、8年ぶりに津市産業スポーツセンター「サオリーナ」で開催(津市では)されます。三重県各地のスポーツ推進委員を歓迎し、歴史と伝統のあるこの大会を県下最大の組織力を誇る津市スポーツ推進委員会が企画・運営を担当し実のある大会に導かなければなりません。そのためには、121名のスポーツ推進委員各自が自分の役割を自覚し委員会の組織力を高めその責任を果たさなければなりません。

三重県では平成30年に「全国高等学校体育大会(インターハイ)」平成33年に「三重とこわか国体」、「三重とこわか大会(全国障害者スポーツ大会)」の開催を控え、津市スポーツ推進委員会としても重要な役割とその組織力と行動力が問われます。



「着任に当たって」

津市スポーツ文化振興部
部長 溝田 久孝

本年4月の人事異動によりまして、スポーツ文化振興部長を拝命いたしました。

スポーツ分野の業務に関わるのは初めての経験ですが、皆様の御協力をいただきながら精一杯努めてまいりますのでどうかよろしくお願いいたします。

スポーツ推進委員の皆様には、平素より地域でのスポーツ振興はもとより、全市的なスポーツ事業の開催や津シティマラソンを始めとした市主催事業への参画など多岐にわたりご尽力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

平成32年の東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、全国的にスポーツへの関心が高まっています。三重県では平成30年7月に全国高等学校体育大会、平成33年の秋には第76回国民体育大会（三重とこわか国体）、第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）の開催が予定されており、県内各市町でさまざまな取り組みが行われています。

本市においても、選手の競技力向上はもとより、市民の皆様がスポーツに親しめる機会の拡充がますます大切になってまいります。

そのような中、今年10月1日に屋内総合スポーツ施設「サオリーナ」がオープンいたします。サオリーナは全国レベルの大会やイベント等が開催できる機能を有しますとともに、ユニバーサルデザインにも対応しており、多くの方々がスポーツに親しんでいただける施設になると考えています。

スポーツ推進委員の皆様におかれましては、各種研修会への参加を通じて得た知識や技術を地域で広めていただくなど、スポーツの振興に取り組んでいただいているところです。

特に今年は、津市スポーツ推進委員会設立50周年記念事業としてグラウンド・ゴルフ大会が開催されます。また、サオリーナにおいて10月に津市民スポーツ・レクリエーションフェスティバルカローリング大会、12月には第58回三重県スポーツ推進委員研究大会など多くの事業を計画されています。

平成23年に改正されたスポーツ基本法ではスポーツを通じて幸福で豊かな生活を営む権利が明文化され、多くの人にとってスポーツは、人との交流や健康増進、生きがいにつながるなどの意義があると謳われており、地域スポーツや生涯スポーツの振興を担う立場であるスポーツ推進委員の役割は今後ますます重要になってまいりますので、それぞれが御活躍いただきますとともに、貴委員会の更なる発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。



(公財)日本障がい者スポーツ協会公認

平成29年度 三重県初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を終了して!

一志ブロック 小坂 勝

現在、私は三重県スポーツ推進委員協議会の評議委員で第4事業部に所属しています。活動は「障がい者を含めたスポーツ大会」等、障がい者スポーツの普及などです。

今年度、県は「ボッチャ」を推進しています。津市も勿論取り組まなければなりません。昨年度までは障がい者スポーツは実施しませんでした。今年度初めて「ボッチャ」を取り入れ研修

をしています。今後は、推進委員会としては避けて通れない課題であります。自身としても「障がい者スポーツを知りたい」思いで、今回の講習会に応募しました。

講習会は座学・実技合わせて18時間(3日間)の講義です。受講生は県下各地域より45名の参加者でありました。内スポーツ推進委員は10名程で四日市市、鈴鹿市、伊賀市、菰野町から各々複数参加されていました。地元津市からは私1人でちょっと寂しい思いがしました。オリエンテーションが終わり、午前10時、座学1限目の講義が始まり、日本福祉大学教授 藤田紀昭氏による「障がい者スポーツの意義と信念」と題し、2時間の講義を受講。1時間の昼休みを挟んで午後からは至学館大学健康科学部健康スポーツ科学科教授 大槻洋也氏による「安全管理」を1時間受講し、午後2時から「障がいの理解とスポーツ〔身体(内部障がい含む)〕」と題し2時間、講義を受講しました。そして、本日、最後の講義を三重県障がい者スポーツ協会 水井 正幸氏による「障がいの理解とスポーツ〔精神〕」と題し、1時間の講義を受けました。

講義の後、ミーティング終了したのが午後5時半近くで、やっと座学の6時間が終了、長い長い1日目でした。

2日目は午前中、三重県障がい者スポーツ指導者協議会理事 大川 進也氏の「ボランティア論」をテーマに2時間の講義を受講しました。午後、初めての実技授業で種目は「ボッチャ」と「フライングディスク」です。「ボッチャ」は三重県スポーツ推進委員協議会も全県的に普及させるため、各市町のスポーツ推進委員会に取り組みを期待しているところですのでタイムリーでした。両種目とも健常者と障がい者が一緒にチームの一員としてプレイ出来る障がい者スポーツなのです。他にもいくつかあります。午後3時まで実技を受講したことにより元気をいただき、午後3時15分からの座学2時間は、より集中して楽しく講義を受講することができました。

3日目、午前10時～11時 三重県身体障害者総合福祉センター職員 柳内 唯氏「障がい者スポーツ指導者制度」について、午前11時～12時講義は同氏から「全国障がい者スポーツ大会の概要」を分かり易く説明していただきました。午後1時～3時 三重県アーチェリー協会シューティングスターズAC会長 宮本 幸夫氏に「障がい者との交流(実技)」アーチェリーを学びました。見聞きはしてはいたのですが大変難しく矢は的を外れてばかりでした。講義の最後、座学2時間です。三重県健康福祉部障がい福祉課企画・社会参加班 川喜多 宏氏による「障がい者福祉施策と障がい者スポーツ」を受講しました。

全課程の修了者は42名で「初級障がい者スポーツ指導者資格」を授与されました。今後は「県内の障がい者スポーツ大会等のボランティアに参加・協力していただきたい。」と依頼がありました。



津 ブロック

◆生涯スポーツ教室 ◆

南立誠地区 坂井 孝二

南立誠地区では、地元企業やスポーツ愛好家の方々が毎週、曜日を決めて南立誠小学校の体育館で活動をしていたため、昨年まで橋北中学校の体育館をお借りして、短期間のニュースポーツ教室を開催してきました。

今年度からは、小学校の体育館が利用できるようになり、毎月第3日曜日にスポーツ教室を開催することで、子ども達や一般の方々の参加が増えることを期待しているところです。

スポーツ教室を主催する体育振興会、またそれを指導するスポーツ推進委員は、毎月参加して下さるスポーツ好きの方々に、津市スポーツ推進委員会が主催する大会等の新しい情報を伝えることにより、それを拡散していくことができるというメリットがあります。

今後は、いろいろな大会に参加するチームが増えるよう体育振興会の仲間と工夫をし、地元企業のスポーツ好きの青年達と一緒にいつまでも健康であることを願いながら、楽しい生涯スポーツ教室を続けていきたいと思ひます。



安芸ブロック

◆豊津地区ドッチボール予選会 ◆

平成29年7月23日(日):豊津小グラウンド

豊津地区 古市 和也

7月23日(日)の午後1時から豊津小学校区のドッチボール予選会を行いました。

河芸町では合併前から河芸町子ども会主催の小学校区対抗ドッチボール大会を行っています。毎年8月末に上野、黒田、千里、豊津の4つの校区から男女別々に代表チームがエントリーして総当たり戦方式で大会を行います。

その大会に向けて7月の夏休みに入っすぐの休日に地区予選会を行ってきました。しかし、昨今の少子化、家庭の事情もあつて年々参加者が減ってきています。地区対抗と言っても、早いボールを投げる事が得意そうなソフトボール少年団の男子もソフトボールの練習で、予選会への協力が得られない状況です。集まったのは男子12名、女子16名で2チームが作れずに予選会の(選抜)の意味を成さない状況でした。仕方なく男子対女子で試合を行いました。

当日は天候に恵まれ(恵まれすぎ?)熱中症の危険があるために水分補給を優先させたので、熱中症や怪我も無く無事終えることができました。

ただ、このような行事への参加者をどのように増やしていけば良いのか……。地区行事の運営・維持の難しさを痛感した一日でもありました。



久居ブロック

◆ 久居ブロック 交歓会 ◆

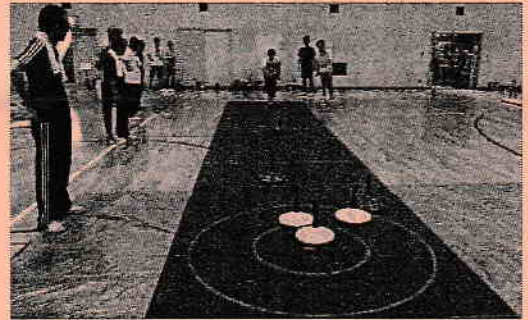
平成29年7月16日(日):久居体育館、久居スポーツ公園

桃園地区 飯田 幸則

久居ブロックの事業として、7月16日(日)に久居ブロック体育振興会の交歓会が行われました。久居ブロックには、榊原、栗葉、戸木、誠之、成美、立成、桃園の7つの小学校区があり、各地区より参加者を募り、ユニカール(13チーム)、ソフトバレーボール(12チーム)、グラウンド・ゴルフ(96名)の3種目を行いました。

参加人員としては来賓、運営を含めて219名となりました。グラウンド・ゴルフの運営については、協会の協力によるコース設定及び組分けを基に競技進行に努め、ユニカール、ソフトバレーボールについては、スポーツ推進委員にて組み合わせ、競技準備、審判を行いました。当日は晴天に恵まれ日差しも強く、湿度の高い日となりましたが、水分補給を呼びかけ、熱中症の心配もなく、参加者全員が和気あいあいと笑顔でスポーツを通じて親睦と交流を深めていただきました。

このような機会を通して、今後も各地区の体育振興会と一体となり、地域スポーツの発展と活性化を進めていきます。



一志ブロック

◆ 一志ブロック交流会 ◆

平成29年6月4日(日) 一志体育館

竹原地区 大野 尚樹

6月4日(日)一志体育館において一志ブロックの交流会がユニカールとボッチャの2種目にて行われました。ユニカールの講師として、久居ブロックの千田委員をお招きしご指導頂きました。ありがとうございました。参加者全員を4チームに分けて、ユニカールを各チーム総当たり戦で行いました。2チームがユニカールをしている間に、残りの2チームがボッチャの研修を行いました。ユニカールはカーリングをカーペットの上で行う様な競技で円形の目標地点にストーン(バーベルを半分に切って縦に置いた様な物)を滑らせる様に投げ、より近づけることを競うのですが、力加減が難しく届かなかったり、行き過ぎたり、又ストーンを滑らせた時バランスが悪く倒れて失格となったり(それはそれで盛り上がったのですが・・)大変でした。

次にボッチャですが、基本的にはクッション性のある赤と青の球を目標(白球)に向かって1チーム合計6球投げて、全員が投げ終わった時点で白球に一番近いところに球があるチームが勝つという競技です。細かい内容はこれからの研修や10月の津市民スポーツ・レクリエーションフェスティバル等で教えていただけたと思いますので省略します。ボッチャもユニカール同様、力加減が難しいのですが、的がボールなので当たれば転がり多彩な駆け引きが取れるといった面白さがありました。そして、障がい者スポーツということで大多数の人達が楽しめるという利点があり、スポーツ推進委員としてはこのような競技にも今後関心を持っていかねばいけないなあと感じました。最後になりましたが、今回の段取りをして頂いた委員の皆様方においては、新しい研修ということで、ルールの事前確認・打合せ等々、お仕事でお忙しい中での準備ありがとうございました。そのおかげで私たち他の委員が楽しく、又、為になる研修をさせて頂いていると思います。今一度・・・ありがとうございました。



スポーツ推進委員 紹介コーナー

津ブロック

南が丘地区 森 廣司

地域の体育振興会でお世話になり、中学の先輩としても尊敬していた白藤氏が急にスポーツ推進委員を退任する事になりました。そんな中、後任として私に声が掛かりスポーツ推進委員を引き受ける事になりました。最初は委員の方々に早く慣れることを最優先に考え、会議そして研修部会に早く慣れるように努力してきました。今年度に入り全体的な活動内容が少しは理解出来た様に思います。又、委員の方々にも少し慣れたことを嬉しく感じています。昨年度に開催された津ブロック会議及び懇親会に参加させて頂いて、多くの方とお話が出来た事が良かったのかと思っています。公私共に多忙ではありますが、今年度スポーツ推進委員の一員として地域のスポーツ行事に積極的に関わっていきたいと思います。それから地域にニュースポーツをさらに伝えて体験する機会を増やしていくことを今年度の目標としています。皆様にスポーツを含めた多くの教えを頂きながらできるだけ行事には参加して頑張りたいと思います。兎に角、楽しみたいと考えていますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

安芸ブロック

明地区 谷口 みゆき

7月1日(土)芸濃支所の福祉センターにて、安芸ブロックのスポーツ推進委員を対象にAED体験研修会を行いました。今回は体験だけでなく、『普通救命講習Ⅰ』として、3時間の講習を受けて修了証を頂くという内容でした。芸濃分署から2名の方が来ていただいて、救命についてのお話を聞かせてもらい、次にDVDで実際にAEDを使って助かった方の事例などを見ました。少し休憩をはさみ、今度は人形のダミーを使って体験をしました。皆さん大きな声で確認していて、さすがにスポーツ推進委員だなあと感じました。



久居ブロック

桃園地区 北林 安幸

私がスポーツ推進委員の話をお伺いしたのは委嘱式の1ヶ月前、平成28年3月初旬でした。それまで推進委員の活動内容は全く知らなかったのが本当に務まるのか不安でありましたが、高校の同級生からの依頼でもあり、お受けする事となり早くも1年と4ヶ月が過ぎました。

学生時代は野球をやっており運動は好きな方でしたが、最近は競技をする機会が殆ど無く、体を動かす事が少なくなっていました。

推進委員をさせて頂いたお陰で色々なニュースポーツがあることを勉強させて頂き、且つ体験させて頂きました。

これまでは、何もわからずブロックの先輩方に支えられ様々な地域行事や活動に参加してただけが実情です。

今後は、地域の皆様にさらにスポーツが浸透していくよう、誠心誠意努力を重ね、お役に立てる様ブロックの先輩方と異体同心で力を合わせ、頑張っ



一志ブロック

香良洲地区

大河内 勉利

60歳を機にスポーツ推進委員を2年間休ませていただきました。復帰後で感じた事は、皆さん、スポーツ推進委員会、体育振興会活動にと忙しい中頑張っているなあ。

熱心な方は外部研修や、外部行事への応援なども積極的に参加している様子。しかし、津市スポーツ推進委員会も合併後10年が経ったが、基本的には組織など、当初とほとんど変わっていない模様です。

広い津市の各地域性、県内一の大所帯、各委員の都合や考え方の違い等難しい点も多いかと思いますが、役員、理事の方々や積極的な方々に引っ張っていただき、消極的な私もついていきたいと思っておりますので宜しくお願いします。



三重県スポーツ推進委員協議会 第1事業部会(女性部会)主催
三重県スポーツ推進委員研修会に参加して

一身田地区
三岳 千津子

みなさん!

子どもから中高年までの幅広い年齢層で楽しめる「ニュースポーツ!!」

オリンピックや競技種目にある本格的なスポーツはもちろん、現存するスポーツ種目を基に様々な身体を動かすことを組み合わせたもので、毎年アイデアいっぱいの「ニュースポーツ」が考案され紹介されています。

女性部会では、毎年三重県下32名の市町代表が、アイデアや意見を出し合って年度の研修種目を考案しています。

平成29年7月22日(土)三重交通Gスポーツの杜、鈴鹿体育館において、第1事業部会(通称:女性部会)主催の三重県スポーツ推進委員研修会が開催されました。

そこで、体験したのが「ボッチャ」です。ボッチャはパラリンピックの正式競技として行われています。男女の区別はなく、障がいの程度でクラス分けをして順位を競います。ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競うスポーツです。カーリングのように相手のボールを弾いたりして、自分が優位に立てるように位置取りをしていきますが、的も弾いて移動させることができるため、カーリングとは一味違う戦略、魅力がある競技です。三重県内でも障がい者スポーツとして大会も行われています。今回は四日市市スポーツ推進委員協議会の方が中心となり設営、ルール説明、進行をしていただきました。津市はまだまだ遅れています。もっと、いろいろなスポーツ、障がい者スポーツを広めていければと思います。

体験コーナーでは、津市からのディスクゴルフを用意しました。屋外でのスポーツなので、少し狭いようでしたが、みなさん盛んに挑戦していました。

ボッチャの前に準備体操として、タオルを使って体を動かそうということで、伊勢市スポーツ推進委員の福田悦子さんの楽しい体操がありました。タオルを使ってチーム対抗で行った準備体操は盛り上がっていました。福田さんの号令でグループを作る、集合ゲームでは、県内のスポーツ推進委員同士が力を合わせ真剣に声を掛け合っていました。

この「ニュースポーツ」来年、また楽しい種目が生まれる事と思います。いずれも実際に体験すると身体に無理なく、しかし「シッカリと運動したなあ!」と感じる事ができます。今回体験して、地元でも是非この「ニュースポーツ」に取り組む仲間を増やしていきたいと思いました。

健康増進、運動不足やストレスの解消に誰でも気軽に参加できるのがこの「ニュースポーツ」の売りです。

皆さん!ぜひご参加ください!

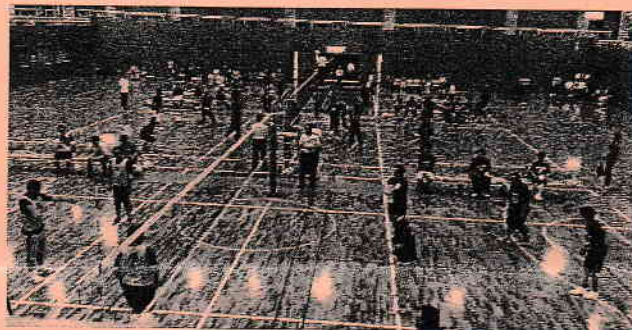


三重県障がい者スポーツ大会に審判として参加

一志ブロック 藤岡 三枝子

平成29年7月8日(土)三重県障がい者スポーツ大会バレーボール(精神障がいの部)が安濃体育館で開催され、ボランティア(ラインズマン)として参加しました。

今回は、共同作業所や同じ病院へ通う人同士の結成で、男女混成チームの人達が来年行われる東海大会の出場権をかけて競い合いました。参加者は20歳代～60歳代の男女で約80名の参加(8チーム)で、監督のトスやスパイクを受けて練習しているチームもあれば、和気あいあいと試合に臨んでいるチームなどで熱戦を繰り広げ、試合中は、力強いサーブや粘り強いレシーブもあり白熱した試合でポイントが決まるとハイタッチをしながら喜び合っていました。試合結果は優勝チーム:昨年と同様「チューズdayず」さんでした。尚、このボランティア活動に参加したスポーツ推進委員の皆さんは下記の方々でした。



【参加委員

櫛田	敏秋	(津ブロック)
三岳	千津子	(津ブロック)
小黒	富佐江	(安芸ブロック)
小坂	勝	(一志ブロック)
外山	つや子	(一志ブロック)
黒川	照代	(一志ブロック)
藤岡	三枝子	(一志ブロック)

計7名



参加された委員のみなさまお疲れさまでした。

★★★編集後記★★★

今月8・9月号(vol.436)の「みんなのスポーツ」に『第2期スポーツ基本計画を理解する』をテーマに特集が組まれていました。これは、平成29年度から平成33年度まで5年間のスポーツに関する施策の総合的・計画的な推進を図るための重要な指針です。▶その中で気になったのが「共生社会」と言う4文字です。基本計画の第3章 2.(1)スポーツを通じた共生社会等の実現 の項にあり、基本計画では、注目すべきキーワードのひとつです。そもそも「共生社会」とは何か。字の如く「共に生きる社会」なのですが、少し調べると・・・○各人が、しっかりした自分を保ちながら帰属意識をもちうる社会 ○各人が異質で多様な他者を互いに理解し、認め合い、受け入れる社会 ○年齢、障がいの有無、性別などの属性だけで排除や別扱いされない社会 ○支え、支えながらすべての人が様々な形で参加・貢献する社会 ○多様なつながりと様々な接触機会が豊富に見られる社会と「共生社会」のイメージがあげられています。(内閣府2005資料)▶2020年東京オリンピック・パラリンピックのビジョンでも、「多様性と調和」をコンセプトに「あらゆる多様性を肯定し、真の共生社会を実現しましょう」と謳われています。成績主義、競争原理の頂点であるオリンピックにも「共生社会」がひとつの課題となっているようです。▶本号の誌面で共生社会を考えるような記事が掲載されたことは、委員各々の共生社会への意識の芽生えであり、これからの委員の在り方が問われるひとつになりそうです。我々が関わるのは、地域スポーツです。これは、基本計画の「スポーツからの共生社会の構築」という政策理念を樹立していくための重要なポジションにいます。スポーツ推進委員が置かれる環境も時代と共に変わりつつあります。その時代、環境を先読みしながら、何のためにするのか目的意識を持つことも重要です。行事消化型、自己満足型から脱却し、委員各々がやらされ感を持たず、これからの活動をしていきたいものです。 by nabeyan

●津市スポーツ推進委員会 事務局●

TEL:059-229-3254

〒514-0056 津市北河路町19-1 メッセウイング・みえ 2階

FAX:059-229-3247

★津市スポーツ推進委員会ホームページ★

<http://tsu-sposui.com/>



公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

<http://www.zentaishi.com/>